

議会だより

184

2022年5月1日発行

# みよし

令和4年度一般会計予算 ▶ p.2

臨時議会の内容 ▶ p.12

一般質問 ▶ p.14

▶ 表紙写真に関する紹介が23ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は8月1日の予定です。



# 令和4年度一般会計予算は 127億597万円 (前年度比2億8767万円増)

令和4年  
第1回 臨時会  
(2月4日)  
第2回 定例会  
(2月28日～3月23日)

## 令和4年度の税収は？

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響を与え、減収の予算計上となりましたが、令和4年度については、令和3年度を大きく上回るものとなっています。

歳入については、町税が73億3532万円（前年度比7億172万円増）、率にして10.6%増となりました。これは、令和3年度限りの新型コロナウイルス感染症に係る固定資産税、都市計画税の特例軽減措置が終了すること、令和3年度の法人町民税が見込みを上回って推移しているためです。

## 町税

### ○町民税

個人分 20億7651万円 (前年度比5193万円増)

法人分 5億1106万円 (前年度比1億3744万円増)

### ○固定資産税

40億4722万円 (前年度比4億8027万円増)

### ○都市計画税

3億947万円 (前年度比1925万円増)

2月4日に第1回臨時会が開催され、住民税非課税世帯等への給付金事業が計上された補正予算など承認2件、議案1件が原案どおり承認・可決となりました。また、2月28日から第2回定例会が24日間の会期で開催され、町長から提出された令和4年度の予算案を含

む議案19件、同意1件がすべて原案どおり可決・同意となりました。議員から提出された発議（※1）2件及び意見書3件についてもすべて原案どおり可決しました。また、議員の一般質問は12名の議員が行い、町政に対する質問を行いました。



# 令和4年度新規事業の一部を説明します

## 庁舎1階トイレ洋式化改修工事 630万円

- 庁舎1階トイレの和式を洋式に変える



## 庁舎敷地等植栽工事

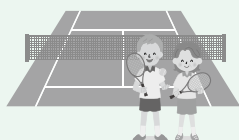
422万円

- 庁舎北側駐車場等の周りに植樹を行い、一般開放に向けて庁舎3階屋上庭園の整備を行う



## 運動公園テニスコート人工芝改修工事設計業務委託料 574万円

- 全6面を人工芝に改修するための設計業務委託料



## 令和の森公園施設管理・整備事業 4039万円

- ドッグラン整備を含む、住民が安全で快適に利用できるように令和の森公園内の遊具・トイレ等の修繕を行う



## 旧島田家住宅茅葺屋根差し茅工事 1760万円

- 文化財保護のため茅葺屋根の差し茅工事の実施



## 住宅用火災警報器（※2） 購入補助 50万円

- 平成18年5月以前に建築された住宅等が対象となる予定  
1万円×50件



# 予算特別委員会が注目!!

## 01 クーポン券配布事業 (第3弾 地域応援ふれあいクーポン)

新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けた地域経済の活性化と住民サービスのための事業。

- ・クーポン券配布事業交付金  
1500円×3万8100人  
=5715万円

主な質疑 .....

**問** 令和3年度も実施しているが、今までの事から改善点や改良点は。

**答** 改善点というよりも利用率がとても高いのもう一度同じ形で実施したい。

今後、取り扱い店舗の拡大をして、利便性を図りたい。

**問** アンケートでは、B券の方が使用しづらいとか、換金手続き等がやりづらい面倒だという声もあったが、令和4年度の実施に関しては、今まで通りに行うのか。

**答** 今まで通り行いながら、アンケートの内容も加味し、改善できるところは改善していきたい。

## 02 公共交通利用補助事業

70歳以上及び妊婦の方を対象に公共交通機関の利用を支援し、移動の機会および利便性の向上を図るための事業。

- ・公共交通利用補助金  
1万円×1800人=1800万円
- ・公共交通補助事業関係消耗品  
2万1000円

主な質疑 .....

**問** 令和3年度までは、補助金が6000円だったが、1万円に増額となった要因は。

**答** この制度は4年間に渡り実施する計画となっており、2年を経過し中間見直しをした結果、利用金額が1万円を超える方が80%以上だったため補助金額の拡大を図ることになった。

**問** 利用補助金の対象年齢を拡大することは検討しなかったのか。

**答** 財政面も考えて70歳以上及び妊婦の方という形にした。

**問** 今年度、補助金申請をするにあたり、集会所での出張受付が実施されたが周知不足だったのでは。

**答** 周知が足りなかったように感じている。

今後、周知等を含めて住民が利用しやすいようにしていきたい。

## 03 キャッシュレス決済・セミセルフレジ導入事業

感染症拡大防止の強化と、社会的な環境整備を充実する。

- ・キャッシュレス決済端末機  
13万9800円×4台×1,10  
=61万5120円
- ・セミセルフPOSレジシステム  
88万9000円×4台×1,10  
=391万1600円

主な質疑 .....

**問** キャッシュレス決済・セミセルフレジの設置場所は。

**答** 住民課担当窓口・税務課収納箇所・藤久保出張所・竹間沢出張所の4箇所。

**問** セミセルフレジと現金での支払いと二つの方法で進めていくのか。

**答** 二つの方法で進めていく。

**問** いつから導入されるのか。

**答** 9月からの運用開始と考えている。

**問** キャッシュレス決済が可能な書類はどのくらいあるのか。

**答** 住民課、税務課などで大体30種類ほどの証明書発行が対象となる。



## 04 建築物耐震改修促進事業

地震による倒壊の恐れのあるブロック塀等の撤去・築造工事を行う所有者に対し、その費用の一部を助成する。

- ・ブロック塀等撤去・築造工事助成金  
撤去工事  
3件×20万円＝60万円  
築造工事  
3件×40万円＝120万円

主な質疑

問 対象となるのは町が調査してリストアップされた箇所か。

答 限定ではないが、町が把握している29箇所のうち通学路や避難路を含む道路に面した危険度の高い箇所が5件ある。そのうちの3件に限定した。

問 対象の箇所についての進め方は。

答 町からお声掛けしていく予定である。

問 工事費の助成金額は全額か、それとも一部か。

答 撤去工事の見積額の2/3、または、1万5千円/㎡で計算された数字のいずれか少ない方で、上限を20万円とする。築造工事については、工事費の見積額の2/3、または3万円/㎡のいずれか少ない方で、上限を40万円と想定している。

## 05 地球温暖化対策推進事業

ゼロカーボンシティ（※3）の実現に向け、再生可能エネルギーや電気自動車の導入を促進する。

- ・再生可能エネルギー設備設置補助  
5万円×25件＝125万円
- ・次世代自動車購入補助  
5万円×20件＝100万円

主な質疑

問 次世代自動車の基準は。

答 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、あとは燃料電池の自動車を考えている。

問 いつからスタートか。

答 新年度早々に運用の基準となる要綱等を整備し、直ちに着手していきたい。



## 06 緑化推進事業

みどりの保全や地域の緑化について、事業者も含め広く町民全体が関心を深めるような普及啓発を図る。

- ・シンボルツリー、記念樹等配布  
苗木 2000円×1000本×1.10  
＝220万円

主な質疑

問 事業の目的は。

答 緑化意識の高揚、緑豊かな町並み景観づくりが従来の目的。併せて地球温暖化対策の一つとして植樹を増強することでCO<sub>2</sub>の吸収効果を高める目的とする。

問 事業の対象者と内容は。

答 住民と事業所が対象。住宅と事業所の敷地内に木を植えて緑を増やすための緑化推進事業。

問 木の種類は。

答 10種類程度を現時点では考えている。選択できるような形にしたい。



# 07 小中学校適正規模適正配置検討委員会

小中学校のより良い教育環境と教育効果を高めるための適正な規模、適正な配置についての検討をする。

- ・会長  
5000円×1人×5回＝  
2万5000円
- ・委員  
4000円×4人×5回＝8万円
- ・識見を有する者  
6000円×2人×5回＝6万円

**主な質疑** .....

**問** 委員会でどのようなことを検討するのか。

**答** 予定では、現状での児童生徒数や学級数の減少、学校編成に係る通学路、施設の状況などの課題について話し合っていく。また、保護者や教職員等を実施する予定のアンケート等についても検討する予定となっている。

**問** 具体的な協議課題は。

**答** 学校再編した時の利点と課題、現状維持した時の利点と課題、またその他の通学区の再考など、色々な面からの考察と協議を考えている。

**問** 5名の委員の内容は。

**答** 学校・地域に関係がある方をバランス良く選出するため公募は考えていない。地域の代表としては、学校運営協議会でコミュニティスクールなどに関わっている方や連合PTAの保護者などから選出の予定。

## 賛 成 論

### 三芳みらい

財政調整基金残高をはじめとする一般会計基金残高は、令和3年度当初予算時の残高よりも多く見込まれる。税収の不安定要因はあるものの、多額の財政支出を伴う事業が予想される中では評価できる。自主財源の確保と計画的な財政運営、住民の福祉のより一層の向上を望み賛成する。

## 賛 成 論

### 公明党

新型コロナワクチンの3回目接種事業の円滑な推進や地域の経済の活性化等今後も継続される状況下、新年度予算では明るい事業も見られる。寄付金による庁舎敷地記念植樹、ブロック塀撤去築造工事助成、庁舎1階トイレ洋式化工事等、町民の要望に応える事業が予算化されており賛成する。



## 反 対 論

### 日本共産党

個人情報の流出が心配のマイナンバー制度は問題だ。学校給食費の補助、18歳までの医療費無償化、国民健康保険税の子どもの均等割の免除など生活支援策が重要。公共交通の充実、コミュニティバスの運行を求める。三芳スマートICの大型車導入は交通安全対策が不十分で認められない。

# 持続可能な財政運営を！

2月28日及び3月17日に予算議案が本委員会に付託され、3月8日、10日、11日、14日、15日、17日の6日間にわたり委員会を開催し、委員14名及び議長並びに町長、教育長及び関係する執行部説明員の出席の下、審査を実施しました。  
今回の予算特別委員会もコロナ禍の開催というこ

とで、感染対策として3密回避のため、会場内の人数制限を目指し、担当課ごとの審査としました。  
6日間にわたる全ての審査が終了した後に、委員間の自由討議を行いました。  
自由討議の結果、各会派からの意見を委員長報告に盛り込むことに決定しました。

## 賛成

### 予算案に賛成の会派からの主な意見

- 在宅福祉支援事業の緊急時連絡システム（※4）通報装置借上料について、固定電話を所有しない方への対応の協議をすべき。
- 建築物耐震改修促進事業のブロック塀等撤去築造工事助成金について、予算は3箇所分となっているが、特に危険な箇所については、早急な対応が必要と考える。所有者・管理者への対応を丁寧に進めて行くべき。
- 庁舎等管理費の3階庭園をガーデンテラスとして一般開放するにあたっては、セキュリティ及び入場者の安全対策を十分にとり、車いす利用者等誰でも利用することが出来るようにすべき。
- 庁舎の修繕に関しては屋上防水工事にとどまっている。予防的修繕により、建物の長寿命化を実現するためにも、今後速やかに大規模修繕を実施するべき。
- テニスコート改修工事は高額な工事費が予定されている。今後テニス連盟だけでなく、各種団体の要望も聞き入れスポーツ行政にも注力すること。
- ライフバスの補助金については新しい公共交通システムに充てることも含め今後も検討し、町内公共交通についての協議を進めていくこと。

## 反対

### 予算案に反対の会派からの主な意見

- 藤久保地域拠点施設整備事業については、スケジュールありきではなく住民と共にじっくり考えていくこと。
- バス交通改善対策事業補助金については、ライフバスのサービス向上や経営努力を求めると共に、コミュニティバスの導入など公共交通の全町的在り方の検討が必要である。

以上のような内容がありました。  
自由討議終了後、議案ごとに討論・採決を行いました。

## 予算特別委員会の採決の結果

国民健康保険特別会計予算	賛成総員
介護保険特別会計予算	賛成総員
後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数
下水道事業会計予算	賛成総員
水道事業会計予算	賛成総員
一般会計予算	賛成多数

以上、本委員会に付託された予算案は、すべて原案通り「可決すべきもの」となりました。

予算特別委員会 委員長 細谷光弘  
副委員長 井田和宏

# 特別会計

## 国民健康保険

### 予算総額

36億1257万円

### 主な歳入

- ・国民健康保険税 7億8509万2000円 (97・76%)

### 主な歳出

- ・県支出金 26億1546万1000円 (101・58%)

- ・保険給付費 25億4252万5000円 (102・04%)
- (受診者負担分を除いた医療機関に支払われる費用)
- ・国民健康保険事業費納付金 9億8795万3000円 (98・21%)
- (医療給付費の財源となる県への納付金)

## 介護保険

### 予算総額

28億5812万7000円

### 主な歳入

- ・介護保険料 6億4607万3000円 (100・18%)
- ・国庫支出金 5億4826万8000円 (110・20%)

### 主な歳出

- ・支払基金交付金 7億3837万6000円 (105・87%)
- ・県支出金 4億1824万6000円 (105・99%)
- ・繰入金 5億687万9000円 (104・76%)

### 主な歳出

- ・保険給付費 26億8391万2000円 (105・90%)
- (介護サービスを利用したことにに対し介護事業者に支払われる費用)
- ・地域支援事業費 1億2787万円 (107・01%)

## 後期高齢者医療保険

### 予算総額

10億7544万6000円

### 主な歳入

- ・後期高齢者医療保険料 4億9874万5000円 (109・46%)
- ・一般会計繰入金 5億5011万6000円 (115・83%)

### 主な歳出

- ・後期高齢者医療広域連合納付金 10億3150万6000円 (113・01%)

令和4年度・5年度の後期高齢者医療保険料は、均等割額で2470円、所得割率で0.42ポイントの引き上げとなる。更に10月からは患者の窓口負担額が一定所得以上の者は2割負担となる。これらは受診控えに拍車をかけ、重症化、更なる医療費増へと繋がる懸念されるため反対する。

## 反 討 対 論

### 日本共産党

## 企業会計

## 下水道事業

### 特定環境保全公共下水道建設事業

- 特定環境保全公共下水道建設事業 100万1000円 (100・00%)

### 流域下水道事業

- 流域下水道事業 5456万8000円 (128・74%)

### 水消化戸数

1万5050戸

(100・33%)

### 年間処理水量

578万1250立方メートル

(100・00%)

### 一日平均処理水量

1万3823立方メートル

(102・83%)

### 主な建設改良事業

727万6000円

(39・82%)

### ○特定の収入

8億5617万1000円

(99・72%)

### ○収益的支出

7億4491万円

(98・64%)

### ○資本的収入

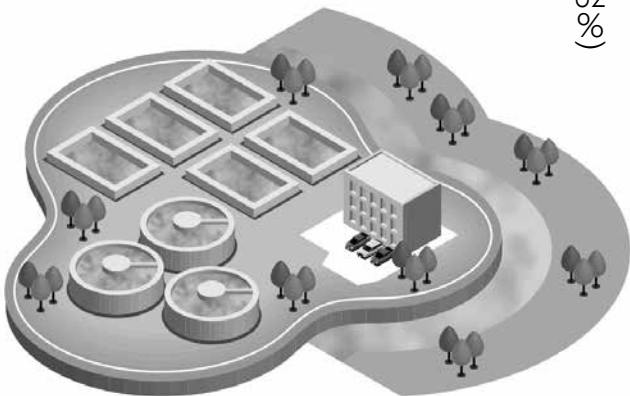
7273万8000円

(94・70%)

### ○資本的支出

2億4021万3000円

(90・20%)





# 水道事業

## 給水戸数

1万6850戸

(100・60%)

## 年間総給水量

497万5315立方メートル

(99・79%)

## 一日平均給水量

1万3631立方メートル

(99・79%)

## 主な建設改良工事

### ○配水管整備

2億1425万5000円

(172・06%)

### ○浄水場整備

1億2599万6000円

(91・49%)

### ・収益的収入

8億5442万7000円

(99・93%)

### ・収益的支出

8億2843万4000円

(98・61%)

### ・資本的収入

1億7895万2000円

(131・58%)

### ・資本的支出

5億726万6000円

(124・82%)

# その他の議案

## 重度心身障害者の医療費 (議案第5号)

令和4年10月1日より、「重度心身障害者医療費受給者証」をお持ちの方は埼玉県内の医療機関等（一部実施していない医療機関等あり）で医療費（保険診療分）の窓口払いが無くなります。

## 町内のゲートボール場 (議案第7号)

藤久保にある「浅間後ゲートボール場」が利用者からの申し出により地権者と相談した結果廃止になりました。これにより町内のゲートボール場は以下の7か所になりました。

- 上永久保第1ゲートボール場 (上富)
- 上永久保第2ゲートボール場 (上富)
- 宮本ゲートボール場 (北永井)
- 西第1ゲートボール場 (藤久保)

北原ゲートボール場 (竹間沢)

南側ゲートボール場 (竹間沢)

## 監査機能の強化 (議案第8号)

これまでの外部監査委員、議員から選任される監査委員に代わって、識見を有する者2名になります（1名は弁護士、公認会計士、税理士などの専門員）

## 職員の育児休業 (議案第9号)

国の制度改正に伴い三芳町も、非常勤職員が育児休業を取得できるよう要件の緩和や、環境整備などが措置されます。

## 学校トイレ洋式化工事 (議案第20号)

三芳東中学校校舎西側トイレ改修の工事請負契約を締結することが承認されました。

生徒用トイレ8か所（洋式23、多機能1）  
契約の方法 一般競争入札  
契約金額 6050万円（税込み）

これまで学校トイレの洋式化は計画的に順次行われ、残る洋式化未改修は三芳東中学校の東側校舎と藤久保中学校となりました。

本町の監査機能充実に議会選出監査委員を廃止し、独立性や専門性を発揮した監査を実施する体制構築に、監査委員は監査の専門家である税理士等の専門家に委ねる条例改正に賛成する。今後、執行側と議会が正常な二元代表制としての機能を発揮し、議会は監視機能に特化していく。

## 賛 討 成 論

### 公明党



## 同意しました

### 公平委員会委員の選任

委員の任期満了に伴う新たな委員選任に同意しました。

駒村 昇氏

## 選挙管理委員会 委員及び補充員 が選ばれました

任期満了に伴い、議員の投票による選挙が行われ、以下のように決まりました。

### 委員

- 横山 通夫氏
- 忽滑谷昌弘氏
- 田畑 正明氏
- 細谷 三男氏

### 補充員

- 尾形 サツ氏
- 抜井 成司氏
- 松本 光司氏
- 佐々木修平氏

# 令和3年度 補正予算 一般会計(第13号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億 47万 4000円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ 154億 1174万 6000円とする。

## 主な内容

### 在宅福祉支援事業

配食サービス事業

153万円

新型コロナウイルスの影響等により利用増が見込まれるため

緊急時連絡システム通報装置

9万円

利用希望者増が見込まれるため

小学校費

675万円

中学校費

360万円

新型コロナウイルス感染症対策への継続支援

消耗品  
簡易パーテーション  
空気清浄機  
ビニール手袋  
洗剤  
ウエットティッシュ  
パルスオキシメーターなど



学校給食センター管理事業

減額 876万円

新型コロナウイルス感染症対策による休校・分散登校に伴う賄材料費減額



一般廃棄物収集運搬事業

100万円

家庭ごみ収集世帯数増加等によるもの



ふるさと納税推進事業

1200万円

ふるさと納税寄付謝礼

ふるさと納税の増額が見込まれるため

\* 埼玉県内ふるさと納税金額ランキング  
2021年ふるさと納税額  
三芳町第4位 3億 3200万円  
(自治体オープンデータによる)





## 意見書

### 性教育の充実を求める意見書

インターネットの普及で性の情報が氾濫する中、子どもたちを守る時代に即した性教育が望まれる。また子どもだけでなく、ジェンダー平等社会を実現する上で子どもから大人まで生涯「性」を学ぶこと、その情報にアクセスすることができる環境を構築する取り組みを進めることを求める。

提出先 国関係機関

### 介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書

介護職員の処遇改善は令和4年10月以降については臨時の報酬改定で所要の措置が講じられた。この報酬改定とともに、原則3年ごとに行う公的価格改定も含め、制度の簡素化や介護報酬の運用について事業所ごとの柔軟な対応を進め、地域の介護サービスを持続可能なものとすることを求める。

提出先 国関係機関

### 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

少子高齢化や人口減少による人手不足、また感染症対策における働き方改革など、今、日常生活に欠かせない現場での変容が求められている。

誰ひとり置き去りにしない社会実現を目指し、教育・医療・分散型社会・持続可能な介護など地域課題解決の為にデジタル化促進を求める。

提出先 国関係機関

## 反討 対論

### 井田議員

子どもたちへの性教育は、性について正しく理解し、適切な行動が取れるよう、適切な指導が求められるとともに、また性に関する指導の価値観は、国によって異なるため、学習指導要領の見直しは、一部の考え方に偏ることなく慎重に検討していく必要があると考える。

### ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻は、力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす明らかな国際法違反である。この軍事侵攻により、子どもを含む多くの民間人が死傷しており、断じて看過することはできない。

また、核兵器の使用を示唆するロシア大統領発言があったことについても、強い憤りを表明するものである。

三芳町は、「みどりとぬくもりのある非核平和都市宣言」の理念に基づき、無益な争いのない平和な世界の確立を訴えつづけており、ロシア連邦の一連の行動はこの理念に大きく反している。よって、早期の攻撃停止とウクライナからの撤退及び外交努力による問題の解決を強く求める。

以上、決議する。

軍事侵攻は認めない

## ロシア連邦に対する非難決議(※5)を全会一致で可決

令和4年2月24日、ロシア連邦はウクライナに対して軍事侵攻を開始しました。これら一連の行為は、ウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反するものです。三芳町議会は3月4日にロシア連邦の一連の行動に対して非難決議を決議し、全会一致で可決しました。

## 専決処分の報告

### 令和3年度 三芳町一般会計補正予算 (第10号、第11号)

## 臨時議会の 内容

#### 【概要】

- 国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に盛り込まれた子育て世帯への臨時特別給付金を一人当たり現金10万円の一括給付にするための予算措置(第10号)
- 国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に盛り込まれた住民税非課税世帯等に、1世帯当たり10万円の現金給付を実施するための予算措置(第11号)

以上について速やかに給付できるよう、町長の権限で議会の議決を経ることなく処分した(専決処分)ことを報告するもの。

## 専決処分に対する主な質疑

- 問** 離婚などで受け取れなかったひとり親家庭への支給は。
- 答** 県からの通知では、対応についても検討中ということなので、通達を待つて対応したい。
- 問** DV等で世帯主とは別々に住んでいるという方々への対応は。
- 答** 対象と思われる方には、町から通知して、振込作業に入っている。
- 問** 対象件数は。
- 答** 1件。
- 問** 今回の子育て世帯臨時特別給付金には所得制限、年収の制限があるが、これによって給付金が給付されない子どもの数は。
- 答** 約500人。
- 問** 所得制限の基準は令和2年の収入か。
- 答** その通り。
- 問** 県内でも所得制限を撤廃した自治体もあるが、三芳町の対応は。
- 答** 約5000万円の財源が必要となるため難しい。
- 問** 令和3年に年収が制限額以下に落ち、対象となり得る子どもには給付しても良いのではないか。
- 答** 国の方で救済措置があるので、そちらを案内したい。
- 問** 住民税非課税世帯特別給付金の支給スケジュールは。
- 答** 住民税非課税世帯の対象者は令和3年12月10日を基準日として抽出し、確認書を2月15日頃に簡易書留で送付する予定。申請が必要な家計急変者については、3月1日より相談を受付するような体制を整え、9月30日まで申請を受け付ける。



## 補正予算（第12号）の概要

### 保育士等の処遇改善のための補助金

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く保育士等の処遇改善を図る。

261万3000円

**問** 引き上げられる給与は月額9000円相当ということだが、9000円は確保されるのか。

**答** 9000円はあくまで目安で、給与ベースに対しおおよそ3%になる。

**問** 処遇改善が適切に行われているか、町でも確認はするのか。

**答** 補助を出す以上、当然町としても検証していく。



### 新型コロナウイルス感染者への支援

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養をしている町民に、県からの支援物資が届くまでの補完として数日分の水分と栄養補給を目的とした食材を配送する。

347万1000円

**問** 750人分の予算計上だが、希望者が上回ってしまった場合は。

**答** 予算の流用等も含めて対応していく。

**問** オミクロン株に罹患すると喉の不調を訴える声が多いが、喉のケア用品も用意できないか。

**答** 速やかに配送するために、個々の要望に応えるのは難しいが、ニーズが多いものに関しては検討していきたい。



### 新型コロナワクチン接種費用

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種時期の前倒し、5歳～11歳の子どもへのワクチン接種のための体制確保を行う。

1136万7000円



## 災害時、在宅ケア者の電力確保は

公明党  
内藤美佐子  
ないとう み さ こ

**問** 人工呼吸器を利用する難病在宅ケア者に対して、災害時の停電対策は。

**答** **福祉課** 県の災害対策チェックリストを基に作成した対象者の支援プランに停電対策も記載している。

**問** 停電時に必須の自家発電機や外部バッテリーへの購入補助制度創設は。

**答** **町長** 災害時の電力確保は深刻。在宅ケア者への様々な支援に加え、補助についても前向きに検討する。

**問** 自家発電機等を日常生活用具給付の対象にしては。

**答** **福祉課** 障害者総合支援法に基づく用具に位置づける事を検討する。

### 女性トイレの充実

**問** 庁舎のトイレ洋式化は。

**答** **施設マネジメント課** 令和4年度の当初予算に1階トイレの洋式化改修工事費を計上している。

**問** 1階以外の工事計画は。

**答** **施設マネジメント課** 庁舎改修のアクションプランを見直し、庁舎の老朽化部分の改修と合わせ各階トイレも段階的に工事をする。

**問** 公共施設に生理用品無料配布機器を設置しては。

**答** **政策推進室** 企業の設置基準もあるので、様々な方法も合わせ検討する。

**問** 小中学校の女子トイレ個室に生理用品配置進捗は。

**答** **学校教育課** 配置に購入費用を予算計上した。

### 窓口サービスの向上

**問** 来庁者が各証明書等の申請書を手書きせず申請できる書かない窓口設置は。

**答** **政策推進室** 町民の利便性を考慮し研究する。

**問** 衛生面や清算ミス防止にセルフレジの設置進捗は。

**答** **住民課** 令和4年9月には設置する予定だ。

### その他の質問

①産前産後家事支援事業創設

②不妊治療の保険適用について



## デジタル支援・多文化共生の町に

公明党  
桃園典子  
もも その のり こ

学校における諸手続きのデジタル化を

**問** 欠席連絡の方法は。

**答** **学校教育課** 小学校では連絡帳が3校、中学校は電話活用が2校。中学校は電話。

**問** コロナ禍やデジタル化促進の状況を鑑み、欠席連絡のデジタル活用を町として促進しては。

**答** **教育長** デジタル活用は、教員・保護者・児童にとつても有効と考える。課題点について検討し、保護者の理解と協力を得ながら丁寧に進めていきたい。

住民へのデジタル活用支援を

**問** 情報格差の是正や住民のデジタル活用支援の促進の為に関係各課が連携・協議する体制が必要では。

**答** **政策推進室** 財政デジタル推進課と政策推進室が情報共有し、プロジェクトチーム等発足して課題解決に取り組む必要があると考える。

**問** デジタル支援の為にデジタルサポーター等の人材募集や養成をしては。

**答** **社会教育課** 人材募集

等視野に入れ検討したい。

**問** 町としてデジタル活用を更に推進しては。

**答** **町長** 所管課と連携して対象手続きの拡大と環境整備を行って行きたい。

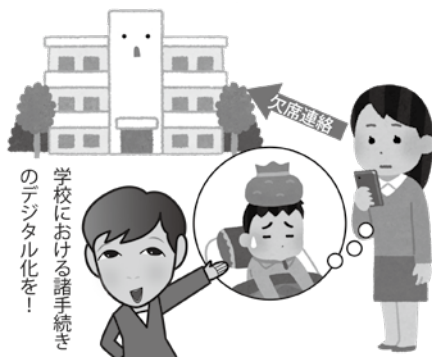
### 外国籍の方への支援を

**問** 相談体制充実の為に町内での相談場所や相談員の確保の取り組みをしては。

**答** **総務課** 現在二一ズは届いていないが、町内で活動されているNPO法人の団体と情報交換・共有をしていきたい。

**問** 外国籍の方がごみ出しについて理解しやすいようにゴミ分別アプリを多言語対応にしては。

**答** **環境課** 費用対効果を考えて前向きに検討したい。



学校における諸手続きのデジタル化を！





## 詐欺電話をAIで被害の防止



輝  
菊地 浩二  
きくち こうじ

オレオレ詐欺などの特殊詐欺はこれまでも様々な対策が講じられてきたが、その手口はますます複雑化し巧妙化している。自治体職員を名乗って医療費などの過払金等の還付があると装って言葉巧みに現金を振り込ませる還付金詐欺も増加している。大切な財産を守るためにも犯人からの電話を取らないように常に留守番電話にセットしたり、防犯機能付きの電話を使用するなど被害に遭わないための対策が必要だ。

**問** 令和3年度で特殊詐欺防止のために主にどのような取り組みをしたか。

**答** **自治安心課** 年金支給日に合わせ青パトを町内金融機関周辺を中心に運行したり、住民の集まるサロンや公民館に担当職員が訪問し特殊詐欺被害防止活動を実施した。その際に簡易録音機などの被害防止の啓発品の配布を行った。

**問** 令和4年度ではどのような取り組みでいくか。

**答** **自治安心課** これまでの取り組みをさらに充実していく。例えば、金融機関と連携しATMの前に青パトを駐車し、見せる防犯活

動を実施したい。

**問** AIを活用した特殊詐欺対策が民間企業より提供されているが、警察と連携し三芳町でも新技術を使った対策はどうか。

**答** **自治安心課** 提案された特殊詐欺対策は東京都で実証実験が始まったと認識している。通話開始時のガイダンス、録音機能、通話解析機能、注意喚起機能など様々な機能が搭載されている。警察と連携する中で通話を録音することはとても有効と考えているので、まずは啓発品の簡易録音機の配布を進め、今後は補助の必要性や機器の有効性の検討を進めていきたい。



## 子どものワクチン接種について



三芳みらい  
細田 三恵  
ほそだ みつえ

**問** ワクチン接種の効果や副反応について分かりやすい周知が必要では。

**答** **健康増進課** 近日中にHPにて分かりやすい表記でアップする。また、厚生労働省が作成したリーフレットを接種券に同封する。

**問** 子ども達へのワクチン接種が、差別やいじめの原因にならないような対応は。

**答** **学校教育課** 学校だよりや保護者メール等に明記し、折に触れ周知、指導をする。

**問** ウイルスは変異しているのですがコロナ禍はまだ終わらないのではないかと。今後もワクチン接種を続けていくのか。

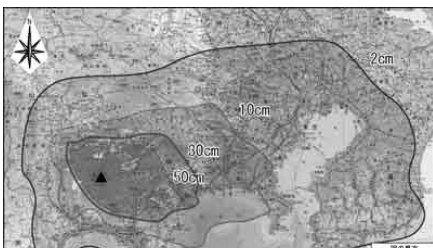
**答** **健康増進課** 今後も法に位置づけられるのであれば速やかに三芳医師会等と連携し、接種体制を確保する。

### 火山災害に備えて

**問** 町における火山噴火災害の可能性と特質は。

**答** **自治安心課** 浅間山や富士山が噴火した際には降灰の被害が想定される。

**問** 火山噴火災害が起きた場合の被害想定とその対策は。



富士山が大規模な噴火が発生した場合の降灰深(センチ)の想定(「富士山火山防災マップ」(内閣府富士山火山防災協議会)から引用)

**答** **自治安心課** 町内では、2〜10cmの降灰が想定される。対策としては、噴火の知識や備蓄品の事前予防対策や情報収集の伝達、避難所の開設、降灰時の対策に分かれて計画をしていく。

**問** 降灰による火山灰の処理はどうなっているか。

**答** **自治安心課** 各家庭、土地所有者による除去をしてもらい町が回収を行う。町は克灰袋を配布することになっているが現在は準備が出来ていない。レジ袋やごみ袋を二重にして灰であることを明記し町から回収の連絡があるまで自宅で保管してもらう。

### その他の質問

竹間沢地域の開発予定地について



# 選ばれる三芳町になるために

輝 鈴木 淳  
すずき じゅん



**問** 町が人口流入のターゲットとしている20代〜40代の人口は、過去4年で富士見市は2098人、ふじみ野市は516人の増加に対し、三芳町は54人の減少であるが、こういった検証はしているのか。

**答** **政策推進室** 20代は進学や就職を機に町を離れるが、30代以上になると定住を希望して三芳町に移り住んでくる、と捉えている。

**問** 三芳町の課題の一つとして公共交通網がある。高齢者だけでなく、全世代を対象とした公共交通補助についてどう考えているか。

**答** **政策推進室** 公共交通補助事業は期間限定の事業であり、終了後に成果を確認してその後の公共交通施策を決めていく。財源に限りもあり、短期間に対象を広げるのは難しいので、現在は高齢者や妊婦に限定している。全世代への公共交通補助としては、ライブバ

スに補助金を出している。**問** 藤久保は住所が7000番台まで混在しているが、新しい住居表示についての検討状況は。

**答** **政策推進室** 高額な費

用や学校区、行政区の問題もあり、今後検討していく。**問** 入間郡から離脱することとは不可能なのか。

**答** **政策推進室** 郡区域の変更は県議会の議決が必要。現行では合併や市への移行以外に郡から離脱した事例はなく、非常に困難と思う。

**問** 人口規模や財政規模と行ったスケールメリットを考慮した上で、近隣市と行政運営上の違いはあるか。

**答** **政策推進室** 令和2年の決算額を人口で割った数値は富士見市、ふじみ野市と差異はなく、近隣市と同等の住民サービスが提供できていると考えている。

## その他の質問

①生産緑地制度導入について

70歳以上の高齢者と妊婦が対象となっている公共交通補助事業は4月から上限が1万円に引き上げられます。

補助額増で もっと 使いやすい！  
70歳以上、妊婦の方  
バス・タクシーの補助  
最大1万円補助  
登録された方(利用者)はライブバス回数券の購入やタクシーを利用した際の費用を最大1万円補助する制度です。  
三芳町在住の70歳以上の方・三芳町在住の妊婦の方  
補助はタクシー・バス乗車、乗客が当該路線の乗車券を購入する場合は対象外です。  
最大1万円を補助(1人1年度につき1回限り)  
①タクシーの乗車券1枚につき500円  
②ライブバス回数券の購入費用(年間100円未満)を除く  
③バスを合算して最大1万円を上限、1万円に達しない場合はその額を補助  
※タクシーの乗車券2枚以上ライブバス回数券4枚かつ乗車券  
④タクシー乗車券500円以上かつライブバス回数券4枚かつ乗車券  
※乗車券100円未満、回数券100円未満、10,000円未満



# 町の福祉を取り巻く状況について

三芳みらい  
細谷 光弘  
ほそ や みつ ひろ



**問** 高齢独居世帯や高齢夫婦世帯の中で、要支援、要介護認定を受けていない方達は、地域包括支援センターの利用や関わりも少ない。高齢者一人ひとりの日常の生活状況や健康状態、地域との関わりなどを把握し、高齢者の社会参加・介護予防・自立支援につながる施策を構築し、地域ケアシステムの深化・推進をはかる為に、新たに65歳以上の全員にアンケートをとるべきではないか。

**答** **町長** 介護保険計画や高齢者福祉計画を作る過程でのニーズ調査の中では全員の調査は難しい。皆さんがどういった事を望んでいるかを把握する事は必要だと思っ

ています。懇談会など何処でどういった調査が出来るか検討して行きたい。**問** 振り込め詐欺対策として振り込め詐欺対策電話機等の補助や自動通話録音機の貸与を検討してはどうか。

**答** **自治安心課** 町としては簡易録音機の配布を進める。今後は、そういった機器についても検討していく。

## 町の街灯について

**問** 町内の街灯をLED化する前とLED化後の年間の電気料金の差は。

**答** **道路交通課** 年間800万円の削減効果がある。

**問** 藤久保中央通りの街灯は町内で唯一水銀灯のままだが、LED化する予定は。

**答** **町長** 商店街の方々の声を聞きながら進めていく。

## 防犯カメラについて

**問** 防犯カメラ設置のガイドライン策定の進捗状況は。

**答** **自治安心課** 今年度3月末には策定予定です。

**問** 防犯カメラの設置補助金等の導入の考えは。

**答** **自治安心課** 町独自補助も検討しつつ、県や国の補助金の方も研究していく。



藤久保中央通りの街灯



自動通話録音機





## フェムテックの活用について



三芳みらい  
林 善美  
はやし よし み

**問** 生理休暇の取得数は。  
**答** 総務課 令和3年度0件、令和2年度2件、令和元年度12件。

**問** 生理休暇についての課題はあるか。  
**答** 総務課 取得しやすい環境を作ることが大切。働きやすい環境を作ることが重要な課題である。

**問** 生理用品の整備状況は。  
**答** 施設マネジメント課 庁舎や公共施設にはない。衛生面に配慮した提供方法の検討が必要。

**問** 学校教育課 令和3年9月から全校に設置。  
**問** フェムテックの活用で健康課題の解決を図っているか。  
**答** 総務課 職場環境の向上のために、フェムテックの普及啓発は必要。国や県の取組みに注視していく。

**問** 環境課 町民や事業者と協力して脱炭素に取り組むことが必要不可欠。次世代自動車購入補助、学校給食残渣の発電利用、緑化推進、また近隣市との広域協同も視野に入れ有効な取組みを進めていく。

### 町の施策について

**問** みよしSDGsに関連して行われた取組みは。  
**答** 政策推進室 みよしSDGs宣言、公民館や役割場ロビーでのパネル展示、啓発品の作成、職員研修など。

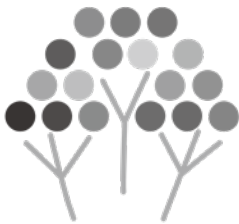
**問** ゼロカーボンシティ宣言後は。  
**答** 環境課 町民や事業者と協力して脱炭素に取り組むことが必要不可欠。次世代自動車購入補助、学校給食残渣の発電利用、緑化推進、また近隣市との広域協同も視野に入れ有効な取組みを進めていく。

### 学校給食と食品ロス

**問** 学校閉鎖や休校となった場合の給食費は。  
**答** 学校教育課 学級閉鎖等については返金は行っていない。国の補助金で対応する場合は、関係各課と協議。

**問** 給食残渣の処理方法は。  
**答** 給食センター 環境センターで焼却処理されていたが、令和4年度からバイオガスプラント施設で処理し、焼却廃棄物を削減する。

**問** 学校閉鎖や休校となった場合の給食費は。  
**答** 学校教育課 学級閉鎖等については返金は行っていない。国の補助金で対応する場合は、関係各課と協議。



MIYOSHI SDGs

みよしSDGsロゴマーク



## 町民が求め、期待するサービスを



輝  
久保 健二  
くぼ けんじ

**問** ライフバスへの補助金2400万円を打ち切り、町民、利用者が望んでいる新公共交通に充てる検討も今後必要ではないか。  
**答** 政策推進室 ルートの検討等はするが貴重な路線維持のため補填はしていく。

**問** 町内調整池等、エクストリーム系パークとして利活用出来る用地はあるのか。  
**答** 上下水道課 竹間沢東の調整池があるが、現状での利活用は難しいと思う。

**問** 施設マネジメント課 庁舎駐車場内に遊水地があるがのり面が土質で現状のままでの利活用は出来ない。  
**問** 近隣自治体、ふじみ野市のように町内施設を利用して試行的にパークとして開放することは出来ないか。  
**答** オリンピアード課 住民や関係団体の声を聞き総合的に判断したい。

**問** 各行政区、集会所の建て替えが、耐用年数の見直しにより先延ばしする計画になったが今後修繕に要する予算が高むことを考えると建て替える方が得策では。  
**答** 自治安心課 アクシヨンプラン作成の中で集会所における修繕費用と更新費用を考慮し、適正化方策の見直しもありうると考える。

**問** 集会所設置等の基準は。  
**答** 自治安心課 各行政区、1集会所程度が基本。  
**問** 基準の軒数を超えている集会所を高齢者施設等、別な用途の施設として利活用する検討は出来ないか。  
**答** 自治安心課 考えられないことではないので議題にはあげていきたい。

**問** コロナ禍による小中学校閉鎖の対応が学校によって異なっていることから、保護者には不安が生じているが、解消する為の今後の対応は。  
**答** 学校教育課 各学校の感染拡大の状況等を踏まえ、保護者に混乱が生じない様同一歩調で進めていきたい。

**問** 各行政区、集会所の建て替えが、耐用年数の見直しにより先延ばしする計画になったが今後修繕に要する予算が高むことを考えると建て替える方が得策では。  
**答** 自治安心課 アクシヨンプラン作成の中で集会所における修繕費用と更新費用を考慮し、適正化方策の見直しもありうると考える。



北永井第2区集会所



藤久保第5区集会所

今後、大規模な修繕が想定され、地域住民からは建替えが望まれている各行政区の集会所



## 小中学校の統廃合について

三芳みらい  
井田和宏  
い だ かず ひろ



**問** 小規模校のメリットは。  
**答** 学校教育課 特色あるカリキュラムを編成できることが考えられる。

**問** 統廃合による町内児童生徒の教育環境の改善は。  
**答** 学校教育課 学校再編の効果は様々考えられ、これから研究、検討したい。

**問** 統廃合による施設の更新費用の縮減効果は。  
**答** 施設マネジメント課 今後40年間で概算41億5000万円の縮減効果が見込まれる。

**問** 統廃合による地域コミュニティの希薄化の懸念は。  
**答** 自治安心課 当町は地域のつながりが強く、現在のコミュニティ組織や事業集会所等のハード面が維持できれば大きく変わることがないと考えている。

**問** 防災機能の維持は。  
**答** 自治安心課 建築物の撤去が行われた場合は、集会所、民間の倉庫の活用、事業所への協力依頼など転換を図る必要がある。

**問** 統廃合の課題は。  
**答** 学校教育課 課題としては、通学時間、距離が長くなる、児童生徒や保護者の不安、学校の多様な機能

に留意する必要があること等が挙げられる。  
**問** 上富小学校の統廃合は。  
**答** 学校教育課 令和5年度以降に審議会を立ち上げ、学校再編計画策定後、該当する学校について検討していきたい。

**問** 地域住民の合意形成は。  
**答** 学校教育課 該当地域の保護者の検討委員としての参加、アンケートの実施、進捗状況の説明を行い丁寧に進めていきたい。

**問** 上富小学校の跡地利用の検討は。  
**答** 施設マネジメント課 2031年度から検討を始めることとしているが、統廃合の方向性が決まった時点で同時期に検討したい。



## 教師不足を補う臨時的任用教員

日本共産党  
本名 洋  
ほん な ひろし



文部科学省が公立学校の「教師不足」の実態調査を行ったところ2021年度の始業日時点で2558人の不足が生じたと発表した。

**問** 本町で教員の未配置未補充は無かったか。  
**答** 学校教育課 加配教員の未配置が1校、年度途中、短期間ではあるが未補充が4校あった。

**問** 埼玉県の「教師不足」人数が多い（小学校168人、中学校87人）ことをどのように考えるか。  
**答** 学校教育課 教員の負担増だけではなく、児童生徒の学習への影響もあるため一刻も早い改善が必要。

**問** 本町における臨時的任用教員の割合は。  
**答** 学校教育課 令和3年5月1日現在11・7%。

**問** 教員の未配置を臨時的任用教員で補うことをどう考えるか。  
**答** 教育長 本採用教員の配置の拡充について県に要望している。

**問** スクール・サポート・スタッフの配置は。  
**答** 学校教育課 令和4年度より導入する統合型校務支援システムの効果を検証した上で、今後必要かどうか

か対応を考えていきたい。  
**町内公共交通について**  
**問** 7番線休止の代替策の検討状況は。  
**答** 政策推進室 令和4年度に具体的検討を進めたい。

**問** コミュニティバス導入やデマンド交通についての考えは。  
**答** 政策推進室 財政状況を鑑みながら、持続可能な公共交通の構築を考えていきたい。

**問** 将来ビジョンにおける地域交通政策の位置付けは。  
**答** 政策推進室 大きな課題であることは承知している。課題解決へ方向性を打ち出さねばいけない。







日本共産党  
増田 磨美  
ます だ ます み

## 考えよう 皆が元気に暮らせる町

**問** 藤久保地域拠点施設基本計画スケジュールでは令和3年12月に要求水準書策定のため、アドバイザリー業務委託事業者が決まったが現在の進捗状況は。

**答** 施設マネジメント課

令和4年1月17日に要求水準書を検討する庁内藤久保地域拠点施設検討会議においてアドバイザリーも加わり説明を行った。手順に沿って各施設の検討部会、コンサルタントも入り要求水準書の検討、策定にあたって

**問** 要求水準書は、建築・管理・運営等事業に関わる事を考えている企業に町の要求を詳細に伝える重要なもの。図書館・公民館・学

童保育室・児童館の名称は変えず、目的・意義も現在のまま残ると考えてよいか。

**答** 施設マネジメント課

従来からの位置づけを変更することは考えていない。

**問** 建築・建設工事等への町内事業者の参画、周知を含め主体的に考えているか。

**答** 施設マネジメント課

要求水準書の評価項目に町内業者参画の配点を記載し積極的に進める方針。

**問** 利用料が発生する施設

についてコンセッション事業を検討しているか。

**答** 施設マネジメント課

検討はしていない。

### 考えるべき子育て支援

**問** 三芳町子ども貧困対策推進計画(案)の子どもの貧困対策の展開、ひとり

親に対する経済的支援として、保護者から希望の多い家賃補助を考えるべきでは

**答** こども支援課 県内では

は蕨市がひとり親世帯民間賃貸住宅家賃補助で家賃の一部を助成している。今後検討していきたい。

**問** 町長の見解を伺う。

**答** 町長 必要性は感じているので研究していきたい。



日本共産党  
吉村美津子  
よしむら み つ こ

## 藤久保地域拠点施設計画

藤久保地域拠点施設計画は現在、個別の施設である藤久保小学校の建て替えと藤久保公民館、児童館、図書館、子育て支援センターなどを、一つの3階建ての複合施設とする計画になっている。この複合施設は、藤久保小学校の校庭に造る計画だ。これらの施設は現在、すべて町職員が配置され管理・運営をしている。しかし、町は、PFI方式を取り入れて管理・運営の一部を民間の企業に委ねるとしている。利益が優先されるPFI方式はやめるべきだ。

**問** 町民の税金で建てた「公の施設」の管理・運営は今までの町の職員により行われている。利用者である住民の声が直接反映される

そして何より、利益よりも第一に安全が優先されている。新しい施設になっても今までのように町職員配置とすべきだ。従来方式をどのように評価しているか。

**答** 町長 最大の力を發揮してきていると思う。

**問** PFI方式の問題点

**答** 民間企業に委ねるPFI

方式での問題点は①住民の税金で建てた施設で民間企業が利益を生み出すこと。②非正規雇用が多くなること。③大手企業の受注になりやすく、町内企業の受注が難しくなる。④PFI方式では金額も多額のため行政と大企業との癒着が生じる恐れがある。この点をどのように払しょくするのか。

**答** 町長 常に情報を開示、提示していきたい。

**問** 個々の施設においては補修工事を行う長寿命化施策も検討すべきだ。しかし、町は複合施設を進めてきた。PFI方式は、まだ決定ではないと捉えて良いか。

**答** 施設マネジメント課

まだ、決定してはいない。

まだ、決定してはいない。

まだ、決定してはいない。



藤久保公民館

# 議員の賛否公開します



◀詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

令和4年第1回臨時会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝				
			細田三恵	林善美	井田和宏	細谷光弘	山口正史	吉村美津子	増田磨美	本名洋	小松伸介	内藤美佐子	桃園典子	久保健二	鈴木淳	菊地浩一	落合信夫
報告			報告のみ														
専決処分事項の報告について(埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について)			報告のみ														
専決処分																	
専決処分の承認を求めることについて(令和3年度三芳町一般会計補正予算(第10号))		原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(令和3年度三芳町一般会計補正予算(第11号))		原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
補正予算																	
令和3年度三芳町一般会計補正予算(第12号)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○

令和4年第2回定例会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝				
			細田三恵	林善美	井田和宏	細谷光弘	山口正史	吉村美津子	増田磨美	本名洋	小松伸介	内藤美佐子	桃園典子	久保健二	鈴木淳	菊地浩一	落合信夫
補正予算																	
令和3年度三芳町一般会計補正予算(第13号)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第2号)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
条例																	
三芳町議会委員会条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町ゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町監査委員に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
決議・その他																	
ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町道路線の廃止について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
富士見市の公の施設を三芳町の住民の利用に供することに関する協議について(下水道)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
富士見市の公の施設を三芳町の住民の利用に供することに関する協議について(水道)		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳町公平委員会委員の選任同意について		原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
三芳東中学校校舎西側トイレ改修工事請負契約の締結について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和4年度予算																	
令和4年度三芳町国民健康保険特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町介護保険特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町下水道事業会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町水道事業会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町一般会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	○	○	○	○	○
陳情・要望・意見書																	
ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い			配付のみ														
介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
性教育の充実を求める意見書について		原案可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	×	×	○	○	○



# 傍聴席から

3月定例会を  
傍聴された方から  
ご意見・ご感想を  
いただきました。



女子トイレの洋式化、小中学校女子トイレの生理用品設置が進んでいる事、喜ばしく思います。ただ、一部の学校関係者の意見として「貧困家庭の子のため」というこだわりのある方もいます。しかし貧困のレッテルは逆に児童生徒を苦しめる事になりかねないので、貧困世帯の掘りおこしにつなげようと思いません（貧困ではない子が使うのを望ましく思わない主旨の発言も学校関係者からありました）。

学校教育課長の答弁（見解）と現場（校長）の方針が異なる場合がありますが、特別な事情が無い限りは学校教育課の方針に従うべきと考えます。ましてや感染予防に必要である事（欠席連絡デジタル活用）は全校一斉に取り入れるべきで、校長の判断に任せるところではないと考えます。学校教育課は校長に対してリーダーシップを取り、適宜指導すべきところは指導していただきたいと思えます。

公共交通について、もう少し真摯に考えていただきたい（行政側へ）。

（傍聴できないですが）ロシアへの抗議の決議が議員発議により上程されたことはよかったと思います。内容については、国会や他自治体のものよりも「外交努力」に力点をおいたよいものであると思えます。

ライフバスの他に、町内を回るコミュニティバスを走らせてほしい。何年も要望があると思うが、実現できないのは何故か？アクセスが不便では他から三芳に来る人は少なくなる。活性化のためにももう一度コミュニティバスを考えたい。

三芳町議会のYouTubeによるライブ配信は、議会に関心のある他自治体に住む友人たちの間で非常に評判がよく、うらやましがられています。（「三芳町にできてなげウチにできないのか！」などなど）「コロナ禍」により始めたものとは思いますが、ずっと継続していつてほしいと思います（事務局の負担は大変だと思います）が、また、ライブ配信したのも、その後もずっと残して視聴できるようにして頂ければ、ありがたく存じます。「正式なものではない」「取り消した発言も残ってしまう」など、クリアすべき問題はありますが、やりようによっては可能だと思います。ご検討のほどよろしく願います。

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

## 議会活動日誌

### 2月

- 1日 厚生文教常任委員会
- 2日 総務常任委員会
- 3日 議会広報広聴常任委員会
- 4日 議会運営委員会  
令和4年第1回三芳町議会臨時会
- 8日 議会運営委員会所管事務調査
- 9日 議会運営委員会所管事務調査
- 14日 政策検討会議
- 15日 全員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 28日～3月23日  
令和4年第2回三芳町議会定例会
- 28日 議会広報広聴常任委員会

- 18日 厚生文教常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 全員協議会
- 25日 令和4年入間東部地区事務組合  
第1回定例会

### 4月

### 3月

- 1日 厚生文教常任委員会
- 3日 議会運営委員会
- 7日 全員協議会
- 8日～17日 予算特別委員会
- 16日 総務常任委員会  
議会運営委員会

- 4日 議会広報広聴常任委員会
- 6日 厚生文教常任委員会
- 8日 政策検討会議
- 11日 議会運営委員会
- 12日 議会広報広聴常任委員会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 19日 全員協議会  
総務常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 令和4年第3回三芳町議会臨時会  
政策検討会議
- 25日 議会広報広聴常任委員会

# 入間東部地区事務組合報告

## 令和4年度第1回定例会報告

3月25日に入間東部地区事務組合議会議定例会が開催され、令和4年度入間東部地区事務組合一般会計予算を含む4議案が承認されました。令和4年度の予算総額は前年比9.7%増の**45億50万9千円**で、増額となった主な要因は消防車両の整備台数の増（1台→3台）、過去の借入債を借り換えることによる公債費の増額です。

入間東部事務組合の運営は、構成市町である富士見市・ふじみ野市・三芳町からの負担金が歳入総額の75.3%とほぼ大部分を占めており、その負担金は消防や斎場運営、し尿処理により割合は少しずつ異なるものの、各市町の均等割り（3市町での等分）と、人口割などの合計によって決められています。

### 2市1町の負担金

	令和4年度 負担金	令和3年度 負担金	前年度比	増減率
三芳町	6億8759万円	7億17万円	△1258万円	△1.8%
富士見市	13億2771万円	13億3629万円	△858万円	△0.6%
ふじみ野市	13億7734万円	13億9231万円	△1497万円	△1.1%
合計	33億9264万円	34億2879万円	△3614万円	△1.1%

## 令和3年中の火災発生状況

令和3年の富士見市・ふじみ野市・三芳町での火災発生件数は前年比18件増の58件で、三芳町内では15件となっています。

これらの火災で残念ながら5名（うち三芳町内3名）の方の命が失われています。

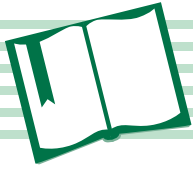
三芳町では令和4年度から住宅用火災警報器の購入補助制度が設けられます。日頃の点検を習慣付けて、火災の発生を未然に防ぎましょう。



### 令和3年の火災出火原因

1位	コンロ	9件（三芳町1件）
2位	その他	7件（三芳町1件）
3位	配線器具	6件（三芳町1件）
4位	たき火	5件（三芳町1件）
4位	電気機器	5件





# 用語集

議会だよりに出てきた用語の説明です。

## ※1 発議 (P2)

議会で審議される議案の多くは町側から提案されますが、議員もしくは委員会からも発議（提案）することができます。議案の修正や動議の他、意見書、決議、条例案等が提案されます。

## ※2 住宅用火災警報器 (P3)

平成18年6月から設置が義務付けられた壁や天井に取り付ける警報器。すべての寝室と寝室がある階の階段に設置する必要があります。



## ※3 ゼロカーボンシティ (P5)

二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡の達成（実質ゼロにする）を目指すことを表明した自治体のこと。三芳町も3月26日に「三芳町ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

## ※4 緊急時連絡システム (P7)

ひとり暮らしの高齢者や家族と同居しているが日中常に一人になってしまう高齢者に対して、急病・事故などの緊急時でも無線発信機によって消防署へ自動的に救助通報が届く町独自のシステム。救助通報を受けた消防署は、救急車を出動させ救助活動を行います。

自宅の固定電話機に設置しますがシステム機器は無償貸与され、設置費用は町の負担となります。

## ※5 決議 (P11)

政治的効果や議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことをいいます。法令上の根拠を有するものについては一定の法的効果が認められますが、そうでない場合には単に事実上の政治的・道義的な効力にとどまります。

## 表紙写真のご紹介

桜が満開の3月末に竹間沢東公園で出会った3姉妹。桜の木の下を仲良く走り抜けていました。お話を聞いてみると、この春から小学校と幼稚園にそれぞれ入学入園とのことです。

コロナ禍の影響はまだまだ続きそうですが、このまま元気に仲良く成長していただくとことを祈っています。



## せせらぎ水辺広場がオープン

4月29日(金・祝)から三芳町総合グラウンド横の多目的広場にせせらぎ水辺広場がオープンしました。水遊びもできますので、ぜひご利用ください。

噴水の 運転期間	4月29日(金・祝)～9月25日(日) の間の土・日・祝日 ※夏休み期間は平日も運転
運転時間	10:00～16:00
お問い合わせ	三芳町役場 都市計画課公園担当

## ふれあい座談会を延期しました

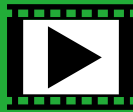
新型コロナウイルス感染者が現在も十分に減少せず、さらに拡大する懸念もあることから、4月23日(土)に予定していたふれあい座談会(議会報告会)を延期しました。  
今後の感染状況を注視して夏以降の開催を検討していますので、決定次第、議会だよりやホームページ等でお知らせします。

## 交通安全教室が実施されました

3月30日(水)に運動公園で「スケアードストレート方式」による交通安全教室が開催されました。スタントマンにより目の前で再現される生々しい交通事故の様子を実際に目で見て理解することで、交通安全に対する意識の向上と事故への対処法も学ぶことができました。



## 議会の動画を配信しています。



議会の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会  
中継ページ

## 次の議会定例会は

6月1日(水)  
開会の予定です



## 編集後記

春の訪れを感じる中、2月28日から始まった3月定例会が3月23日に閉会いたしました。例年3月定例会は、来年度の当初予算を審査します。令和4年度の予算審査に当たっては、それぞれの議員が準備を整え、様々な角度から質疑をしました。

また、ロシア連邦の暴挙に対する抗議の声を三芳町議会からも挙げさせていた。議員発議による「ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」については全会一致で可決しました。

未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症、世界情勢の不安定化は少なからず我々の生活に影響を与えます。限られた予算を市民の皆様の福祉向上のためにどのように使っていくのかをしっかりと議論し、その議論の過程を分かりやすく伝えていくことが大切だと考えています。

これからも試行錯誤しながらも親しみのある、読んでいただける議会だよりを目指し努力してまいります。今後とも、お気軽に忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

議会広報広聴常任委員会

委員長 山本 正  
委員 井田 宏洋  
委員 鈴木 淳  
委員 細田 三恵  
委員 増田 美  
委員 桃井 典夫  
委員 落合 信夫

委員 井田